

平成28年度交付 市民企画事業補助金 成果報告書



八王子市
平成29年7月



百年の彩りを
次の100年の
輝きへ

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	交付事業一覧表	3
4	事業成果報告	
(1)	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	5
(2)	高齢者の転倒事故から頭部を守る重要性の広報活動と頭部の新保護具の研究・開発	7
(3)	マルベリーハートフルフェスタ	9
(4)	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	11
(5)	介護予防・健康元気は歩くことから	13
(6)	とんとんむかし -語ろう！八王子のむかし話-	15
(7)	HACHIDORI ～八王子ロックドリーム	17
(8)	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	19
(9)	放課後スポーツ教室	21
(10)	RUN 伴+はちおうじ 2016	23
(11)	「説経節研究 物語編-三庄太夫-」の刊行	25
(12)	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	27
(13)	人と動物が共生できる街づくりを目指す「地域猫活動 (T. N. R. M)」 推進のためのセミナーおよび勉強会の開催	29
(14)	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	31
5	成果報告会アンケート結果	33
6	交付団体連絡先一覧	38

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1. 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものであります。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内または前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上、市長が特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課が面接により応募事業の内容確認・評価を行う予備評価及び外部委員で構成される「市民企画事業補助金申請事業評価会議」による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（B 事業実施部門のみ）」や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当課による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
評価会議 による評価	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ この概要は平成28年度交付対象事業についてのものであり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。

<市民企画事業補助金のホームページアドレス>

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成28年5月15日(日) 13:00~17:30
- 場 所 生涯学習センター(クリエイトホール)11階 視聴覚室
- 参加団体 14団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、評価会議委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



(2) 成果報告会

- 日 時 平成29年6月24日(土) 13:30~17:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 14団体
- 平成28年度に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 交付事業一覧表

(単位 円)

区分	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	118,522	100,000
	新	高齢者の転倒事故から頭部を守る重要性の広報活動と頭部の新保護具の研究・開発	114,876	100,000
	新	マルベリーハートフルフェスタ	218,650	100,000
	②	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	181,084	100,000
	②	介護予防・健康元気は歩くことから	242,090	100,000
	小計			875,222
事業実施部門	新	とんとんむかし ー語ろう！八王子のむかし話ー	1,424,152	600,000
	新	HACHIDORI ～八王子ロックドリーム	2,016,411	1,000,000
	新	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	2,011,471	1,000,000
	新	放課後スポーツ教室	704,386	350,000
	新	RUN伴+はちおうじ2016	779,929	389,000
	新	『説経節研究 物語編ー三庄太夫ー』の刊行	875,838	437,000
	②	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	1,182,704	394,000
	③	人と動物が共生できる街づくりを目指す「地域猫活動（T. N. R. M）」推進のためのセミナーおよび勉強会の開催	435,133	120,000
	③	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	947,057	253,000
	小計			10,377,081
総計			11,252,303	5,043,000

4 事業成果報告

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業		
団体名	フードバンク八王子えがお		
事業費	118,522円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

子どもやひとり親世帯の貧困がいられている。それは、八王子でも例外ではなく、私たちの周辺地域にも普通に存在している。食に困った状況に至ったとき、地域で支えあい、労りあえる地域社会をつかっていくことは重要である。そうした地域づくりに結びつくフードバンク事業を進めていくことが目的である。

上記の目的を追求するために補助金を有効に使わせていただいた。つまり、フードドライブ（食品寄贈呼び掛け活動）の呼びかけ、寄贈された食品の紹介、食に困った時の支援要請の方法の伝達等である。さらに心温まる支えあいの事例紹介として、街のパン屋さんからの日々の営業活動で残ったパンを冷凍保存し、週1回、無料学習塾生徒への届け活動の紹介を通して、市民や商店などへのフードバンク活動への関心を高めるための広報紙「えがお通信」や広報チラシの発行、配布等、補助金があったからであった。

事業の活動実績	<p>任意団体としての設立は平成28年3月であるが、7年半ばまでの最初の4ヶ月間は、肝心の食品をまったく手にすることは出来なかった。</p> <p>① 5月から9月にかけてのチラシ配布、一般新聞等による広報により、街のパン製造販売店から提供を受けた冷凍保存パンを無料学習塾「つばめ塾」生徒への届ける活動開始。米や中元の贈答品が送られてくるようになる。</p> <p>② 9月の「NPO法人設立のための総会」に72名参加。その広報を通じて支援の輪が広がり始める。</p> <p>③ 10月30日に友誼団体「えがおのおすそわけ」のフードドライブに協力参加、12月の第2回と合わせて500キロ以上の食品と7万円余の寄付が「えがお」に託される。</p> <p>④ 市の広報（12月15日号）への掲載から支援要請が増加、それへの対応。また、同時期よりネット等を通じて支援要請増加。</p> <p>⑤ つばめ塾生徒家庭からの定期的支援要請増加</p> <p>⑥ 年末期間を中心に市の生活自立支援課窓口への食糧支援要請に応えるための食品供給（数回実施）。</p> <p>⑦ 3月12日、「えがお」主催でのフードドライブを台町市民センターで実施、チラシを周辺住宅や商店に約6,000枚配布し依頼、61名の方から200キロを超える食品を預かる。支援先は、“ひとり親世帯”を中心に高齢世帯、児童養護施設、高齢者グループホーム、そして市生活自立支援課相談窓口、子ども食堂となっている。</p> <p>以上のように、この1年、“食に困る人々を地域で支える”フードバンク事業を展開してきた。最初の4ヶ月間、食品企業やスーパー等からの支援を得られなかった中で、地域での支えは一般家庭中心という“えがお”のひとつの形が作られたように思う。しかし、今後の支援要請の広がりを見ると、一般家庭とともにスーパーや食品企業の力も得られるよう努めることを重視していく必要があると思う。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>ひとり親家庭の相対的貧困率が54.6%という数字からみても、また、それに高齢者世帯の貧困も加えると、この八王子市民で食に困る状態にある人々が少なからず居ると想像される。そうした人々に情報を提供し、それに対応できる力を蓄えるため長いスパンで取り組む必要がある。</p> <p>「えがお」の実践は、その僅かな一歩に過ぎない。その微かな一歩を着実に歩み出せたことは、重要と評価したい。</p> <p>しかし、あまりにも小さな一歩であることを自覚し、着実に協働の輪を大きくして、“食に困る人々”を思いやる層を、より多くの市民、スーパーや食品企業にも幅を広げ、支え合いと労りの地域生活を提供できるよう頑張っていきたい。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 パンフレットの発行が29年度に繰り延べられたこと、「えがお通信」4号の3月中発行予定が4月にずれ込んだことなどから、印刷経費が予定より割安に済んだこと等があげられる。
	その他、評価すべき点等	活動を開始して1年目としては順調に歩みを刻むことができた。 廃棄される寸前の食品の活用ではなく、地域住民の“おすそわけ”の延長のような市民の持ち寄り活動を中心に進めるという“えがお”のスタイルが形づくられた1年であったといえる。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>NPO 法人として、都から認証があり、近く事務所も設け“えがお”として市民生活に根を下ろして歩いていきたい。“安定した食の確保”が、人として生きるうえでの基本であるだけに、食に困る人々の力となれるよう、フードドライブの取り組みを、主催、共催を含め年間8回以上計画している。</p> <p>また、早い機会に食品企業やスーパー等への協力依頼に再度取り組み、文字通り“地域で支える”フードバンクをめざし、頑張りたい。</p>
---------	--

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高齢者の転倒事故から頭部を守る重要性の広報活動と頭部の新保護具の研究・開発		
団体名	八王子アイデア発明研究会		
事業費	114,876円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的	<p>1. 高齢者が屋内・外でつまずき転倒し頭部を打つ事故が多発しています。これらの事故の軽減を図るため、頭部への保護具着用の重要性を啓発し、保護具の着用率向上を図る。</p> <p>2. 頭部の新保護具の研究・開発を行い、八王子市のご支援を得て、八王子市の新産業として創業に繋がる様に、企業に働き掛けを行う。</p>
	内容	<p>1. 高齢者の転倒事故から頭部を守ることの重要性を、ポスターの掲示や、市民活動協議会主催の「お父さんお帰りがささいパーティー（オトパ）」等に頭部の新保護具を出展し、広報活動を行った。</p> <p>2. 市内の大学や企業の協力を得て、頭部を守る新保護具の研究・開発を推進。また、企業へは協業で生産性等を追求した新保護具の試作を依頼し、企業独自での、製品化及び販売実施を働き掛けています。</p>

事業の活動実績	1. 高齢者の転倒事故から頭部を守ることの重要性の広報活動	<p>平成28年6月16日 主担当会員による事業計画並びに重点事項の進め方打合せを実施。</p> <p>①ポスター掲示による広報活動：◆8月12日 デザイナーより、A3版ポスター第1次案受領。数次の修正を経て完成。</p> <p>◆9月27日 協働推進課へポスターを持参し、八王子市の施設42箇所にA3版各1部（計42部）とA4版各5~10部（計260部）の掲示及び自由配布をお願いし、10月20日頃から約1か月間掲示。数か所施設の掲示状況調査実施。</p> <p>②頭部の保護具試作品着用による広報活動：◆10月18日及び平成29年2月21日 TBSテレビの取材を受け、頭部の保護具試作品の着用並びに研究・開発状況を説明し、番組「Nスタ」で放送された。◆平成29年3月11日 第18回「お父さんお帰りがささいパーティー」にて、本事業で試作した頭部の新保護具「ヘッド・バンド」の展示と着用実演並びに啓発ポスター等を掲示。転倒事故から頭部を守ることの重要性の広報活動を行った。</p>
	2. 頭部の新保護具の研究・開発	<p>①頭部の保護具緩衝材素材の性能評価：◆7月14日 首都大学東京 青村茂教授を訪問。私共の頭部保護具と緩衝材の研究・開発状況を説明。頭部の新保護具の研究と緩衝材素材の性能評価を依頼し、快く受託戴いた。</p> <p>◆7月25日 学生の卒論発表会に招待を受け3人で出席。柔道等での頭部損傷解析の研究発表があり、また、私共の頭部保護具試作品の提示と研究状況の発表も行い、質疑応答に参加。◆平成29年2月23日 首都大学東京を訪問し緩衝材素材の性能試験結果を受領。私共が提供した緩衝材素材で、所期の性能をほぼ確保出来る見通しを得た。</p> <p>②頭部新保護具の市内の企業による製品化と販売推進働き掛け：◆7月14日 サイバーシルクロード八王子訪問。頭部保護具の試作品を提示。保護具の普及が急務であり、市の新産業として、研究開発への支援を依頼。試作品作製企業として、小谷田テックス（株）様を紹介頂いた。◆8月29日 小谷田テックス（株）様を3年ぶりの訪問。その後の頭部の保護具研究状況説明並びに市民企画事業補助金に本事業が採択された旨説明し、協業での頭部の新保護具の試作品作製をお願いした。◆平成29年3月10日 頭部の新保護具「ヘッド・バンド」試作品が完成出来た。</p>

広報活動ポスター掲示状況写真①



第18回オトパに頭部の新保護具出展写真②



事業の成果・効果	<p>1. 高齢者の転倒事故から頭部を守る重要性の広報活動</p> <p>①. 啓発ポスター掲示による広報活動： 転倒事故の起こり易い場所の絵や、転倒して頭を打つことによって発生する怖い病気の事例など表記し、転倒事故から頭部を守る重要性を訴えたポスターを作成。八王子市の主要施設42か所にA3版を掲示するとともに、A4版の自由配布用260枚用意して、約1か月間掲示。約2週間後に数か所の施設を調査した結果、自由配布用のA4版は殆ど無くなっており、市民への啓発が良く出来た。</p> <p>②. 頭部の保護具試作品出典・着用実演による広報活動： TBSテレビ〔Nスタ〕での放送や第18回オトパへの出展並びに頭部の新保護具「ヘッド・バンド」着用・実演を積極的に展開した。</p> <p>2. 頭部の新保護具の研究・開発</p> <p>①. 頭部の新保護具の緩衝材素材の性能評価： 市内の首都大学東京 青村 茂教授研究室との協業で推進することができ、私共が提供した緩衝材素材、「EVA発泡合成樹脂厚さ5mmのシート」試料にて、衝撃力吸収性能は、ほぼ所期の性能を確保できる見通しを得た。なお本試験結果は、新保護具の試作品に盛り込むことが出来た。今後も大学との連携を密にしていきたいと考えます。</p> <p>②. 頭部の新保護具の市内の企業による製品化と販売推進働き掛け： サイバーシルクロード八王子様の紹介を得て、小谷田テックス（株）様を3年振りに訪問。その後の研究状況等を説明。私共と協業で、頭部の新保護具の試作品作製を依頼。頭部の新保護具「ヘッド・バンド」試作品は産学連携により、全縫製方式の軽量（約70g）仕様で、実用的な物品が完成出来た。</p> <p>今後は、頭部の新保護具試作品での衝撃力吸収性能試験及びユーザーテストを実施し、これらを通して、是非八王子市の新産業として育成出来ることを期待しています。</p> <p>なお、頭部の新保護具は、デイスサービス等に評価を依頼するべく推進中ですが、試作品の作製遅れ並びに個人尊重等でまだ実施出来ていません。今後も実施するべく活動を継続します。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由（2、3と答えた場合のみ）</p> <p>1. 頭部新保護具の緩衝材素材研究は大学との共通テーマであり、私共と協業で推進。緩衝材素材の性能評価試験は学生の卒論テーマの一部として実施でき、費用がかなり低減出来た。</p> <p>2. 新事業であり、交通費などが予想以上に多くなった。</p> <p>3. 会場借上料・使用料は、会の中の他のグループと共同使用の為計上なし。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>1. 広報用ポスターが市の主要施設に掲示でき、広報活動に大いに貢献できた。</p> <p>2. 頭部の新保護具の試作品作製を行うに当たり、企業と協業でデザイン性や生産性の向上など協議の上で実施出来た。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>1. 頭部の新保護具の研究・開発は継続し、八王子市の新産業として、市内の企業に製品化及び販売を実施して戴く様に働きかけを続ける。市のご支援をお願いいたします。</p>
---------	--

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	マルベリーハートフルフェスタ		
団体名	マルベリー東京パイロットクラブ		
事業費	218,650円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>障害者には健常者にはない独特の感性・才能を持っている人が多いが、才能を発揮する機会や場所が少ないのが現状である。これまで障害者による発表の場は、個々の作業所内に限定されてきたが、より多くの方に障害者への理解を深めてもらうとともに、障害者自身の社会参加を促進するため、複数の作業所と一緒に実施する音楽イベントを開催する。</p> <p>初めての試みであり、より効果的なイベントになるよう以下の点について工夫した。</p> <p>①ケアをしている家族・作業所の職員も一緒に参加できる場を提供することで障害者及び関係者の喜びを創出する。②プロ演奏家と同じステージに立つことで障害者が自信を持って社会参加できることにつなげる。③障害者と健常者が一体となった企画を運営実施することで、新しい支援の在り方を創出する。</p>
	<p>内容</p> <p>障害者とプロアーティストの共演による音楽イベント</p> <p>*挨拶*来賓挨拶*ぷらさ de かたくり (ライアー演奏) *ふーぷ (フラダンス) *SORA (カホン演奏) *ひのき工房 (手話コーラス) *クリエイト (歌) *藍作業所 (歌) *LOVE MAX (ダンス) *八王子福祉園 (歌) *りえりさ Duo ピアノ演奏 (3曲)</p>

事業の活動実績	<p>実施日 平成28年6月12日(日) 午後1時から午後3時45分</p> <p>場所 クリエイトホールイベントホール</p> <p>出演者数 108名 来場者数 約150名</p> <p>・事前活動</p> <p>4/2プロピアニスト(りえ・りさ Duo) 出演依頼</p> <p>4/19 出演団体8団体代表者と打ち合わせ 15名 台町市民センター</p> <p>4/19 フェスタ案内状持参 市長・社会福祉協議会・福祉部</p> <p>4/25 広く一般の方に知って頂くため 読売新聞八王子支局・J:COMに取材依頼</p> <p>6/6 プログラム出来あがる。プログラムに掲載の協賛・広告を募集</p> <p>出演者に記念品として缶バッジを作る(福祉作業所に製作依頼)</p> <p>・当日</p> <p>午前中にリハーサル実施</p> <p>午後1時より開演 楽器演奏(ライアー・カホン) 歌・フラダンス・手話コーラス等</p> <p>午後3時よりピアノコンサート りえ・りさ Duo 連弾・トーク</p>
---------	---



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者 約 150 名・出演団体 8 団体で予想を上回る参加となった。 ・出演者 障害者 60 名（内車イス 5 名）・家族 15 名・職員、先生 33 名 ・フェスタ後半にプロピアニスト（全盲の双子ピアニストによる連弾）出演 <p><入場者アンケートより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このフェスタは、まさに健常者との架け橋でした。 ・発表の場がない人たちにとって最高の舞台を用意して上げられた事は素晴らしい ・障害のある方たちの一生懸命なパフォーマンスに感動した。 ・出演者皆さんの頑張りに自然と涙があふれた ・一緒になって体を動かし、拍手をし、涙し、自分がステージに立った様なうれしい疲労感があった。 <p><出演団体の方から></p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の機会を与えて頂き、ありがとうございます。 ・障害者の方の、普段見られない生き生きとした表情、姿を見ることが出来た。 ・舞台に立ち多くの人に注目されることは、脳にとってもいい刺激になる。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・彼らが自分の足で大地を踏みしめて歩けるチャンス作りを、健常者と関係者が一体となって出来ればとの思いで企画をしました。結果、障害者と健常者が感動を与え感動を受けたことは、架け橋の第一歩に寄与できたと考える。 ・当日の DVD を作成し、8 団体に贈呈し、良い記念になると喜ばれる。 ・この企画に助成金を頂き、市長の電報や来賓からの祝辞を頂いた事で、出演した障がい者にとって今後の人生のステージに誇りをもって進めるきっかけになった。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 協賛者が多くなったことで、内容を充実することができた。
	その他、評価すべき点等	当日、一般の入場希望者多数の為、出演者が客席で他の団体の演技を見ることが出来なくなり、八王子ビデオクラブの協力により、当日の様子の DVD を作成し、関係団体に贈呈。とても良い記念になると喜ばれた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者、観客両者から是非毎年開催して欲しいとの依頼があったので、マルベリー東京パイロットクラブの基幹事業として継続して取り組み、八王子市の恒例行事として市民参加型のイベントに成長させていきたい。 ・障害者の潜在能力をいかに引き出すか、健常者との協働の可能性を見つけるイベントを目指す。 ・本格的アーティスト育成の場を提供する。
---------	--

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 ～元気なアートで街と人と人をつなぐ ハッピー太陽プロジェクト～		
団体名	八王子ハッピー太陽ロード実行委員会		
事業費	181,084 円	補助金額	100,000 円

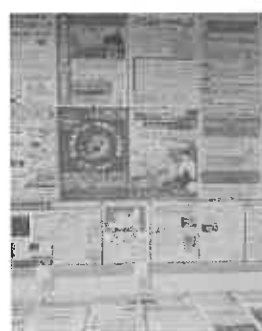
事業の目的・内容	<p>目的 わかりやすいアート事業を！ 一般にアート事業といっても、暗い作品だったり、専門家でないと、意味のわからない作品展が繰り返される近年のアート事業部門。 老若男女問わず、シンプルで明るく、元気な気分になる、八王子在住のハッピー太陽画家小楠アキコさんの作品を街に展示、見ていただくことにより、1 人でも多くの市民が、明るく楽しい気分になり、日々生活していけるようにアートを通して貢献したい。また、アートをめぐって八王子の街を歩くことにより、日ごろ知らない八王子の商店街のお店と触れ合うことにより、新しい発見や、商店街の活性化につながることを目的としている。</p>
	<p>内容 ～元気なアートで街と人と人をつなぐ、ハッピー太陽プロジェクト～ 八王子の商店街と八王子の街と八王子を元気でハッピーにしよう！ 八王子の店舗の方々との厚い信頼関係と協力の基に、ルーブル美術館作品展、サロンブラン日仏現代美術展奨励賞受賞、NY、スイス、マイアミ、ドイツ他各国で活躍する八王子在住の画家、小楠アキコさんの協力により、2013 年 6 月よりスタートした企画。 作品展の作品は、太陽の街八王子にふさわしい、ハッピー太陽の絵を描く画家、小楠アキコさんの作品を各店舗ごとにテーマを決めて展示。(写真屋の場合、笑顔とハッピー太陽と人々の作品や、布団屋の場合は、布団とふわふわの作品展など)ハッピー太陽アートプロジェクトは、今年で 4 回目を迎えました。2016 年は、春に八王子市内 15 店舗、秋に西八王子 7 店舗での作品展他、個別商店とのコラボ作品展を開催。</p>

事業の活動実績	<p>●4 月 15 日(金)-6 月 19 日(日) 春の企画「八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 2016」開催 参加店舗:八王子の 15 店舗(額のイワイ、タカクラメガネ、丸吉優眠館、BOUQUE、美容室 姿、うめ八、ライブハウスpapabeat cafe、ラーメン百馬、お好み焼き タヤけ、肉の富士屋、タイズホーム、ファイナルステージ、mix&mix、写真館 桃屋美術、さものにしわ) スタンプラリー応募総数 121 件 ★4/15-16 オープニングキャンペーン 於:タイズホーム(八王子北口 参加店舗イベントスペース)にて 参加者数 26 名 ★5/14-15 中間宣伝イベント 於:はちチャレ(八王子北口ドンキホーテ向い 1 坪スペース)にて 参加者数 80 名 ★6/9-14 八王子ハッピー太陽ロード中間イベント企画「ひまわりの作品展」 於:ギャラリーロッカーニ(八日町) 参加者数 123 名 ★6/18-19 クロージングキャンペーン 於:タイズホーム(八王子北口 参加店舗イベントスペース)にて 参加者数 34 名</p>
	<p>●11 月 3 日(木)-11 月 27 日(日) 秋の企画「西八王子ハッピー太陽アート作品展 2016」開催 参加店舗:西八王子の 7 店舗(ヘアーサロンALVERO、Member's Bar D、おこめパン&カフェ Magome、西八 izakaya結び屋、八王子旬香そめい 日本料理店、café enlarge、西八王子a画廊) スタンプラリー応募総数 46 件 ★11/14-19 八王子いちよう祭りキャンペーン 於:西八王子a画廊(西八王子北口中央図書館並び) いちよう祭りにあわせ、スタンプラリーチラシ配布を行い、販促キャンペーンを行う。 ●2016 年 12 月 26 日-2017 年 1 月 31 日 参加者数 51 名 八王子商店街の店舗とのコラボ作品展「西と羽毛とハッピー太陽作品展」開催。 於:丸吉優眠館(八幡町) ●2017 年 1 月 26 日-31 日 ハッピー太陽作品展 於: ギャラリーロッカーニ (八日町) 参加者数 124 名</p>

日本料理店での
展示風景



八王子市内関連施設での
ポスター掲示風景



事業の成果・効果	<p>「八王子の街をより楽しく、活性化できるお手伝いをしていこう！」をコンセプトに、八王子に住んでいるが、市内のことを知らない市民に対して、アートをきっかけにお店をまわり、スタンプラリーをすることにより、八王子の町やお店を知っていただくことより、地域の商売繁盛や、にぎわいに繋げていく成果をあげた。</p> <p>成果① 昨年度同様、八王子市市民企画事業に認定されたことにより、八王子市役所関連の施設 64 箇所以上に、ポスター、チラシの掲示ができた。 また、新聞、雑誌各誌への掲載露出が増えたことにより、イベントへの認知度が上がり、集客へつながった。以前からのファンがFacebookやTwitterでイベント情報を拡散してくれるようになり、例えば、春開催のスタンプラリーの応募総数が、昨年度の 107 件から今年度は 121 件と増員。さらなる動員へつながった。</p> <p>成果② 中間イベント実施回数を増やし、直接スタンプラリー台紙を配るなど販促活動を行うことにより、八王子市内の街をアートを見ながら散策し、八王子の街の商店街のイベントのことを知っていただけた。アート展示を通して、商店街の方と、街の人々が交流し、八王子の街に親しみが生まれた。</p> <p>成果③ 春、秋共通して、店舗様からスタンプラリーのプレゼントをご提供いただき、スタンプラリー後も当選賞品の受け取りなどで、再度お店に来店する機会を設け、商店街との交流も再度生まれた。 例 1) スタンプラリーの景品 お食事券(西八izakaya結び屋) 1000 円分などで再度来店、1000 円以上のお食事をする。 例 2) 1000 円分の賞品券があたり、肉の富士屋でお買い物をしに再度訪れた。</p>
----------	--

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4 と答えた場合のみ) 申請どおり+リクエストがあった新規店舗とのコラボ展覧会など、市内の商店と連携して、ハッピー太陽アート作品展を開催した。</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4 と答えた場合のみ) 中間イベントを設け、イベントの宣伝告知、チラシの配布を行い、八王子市の施設にポスター、チラシを掲示できたことが、今回の動員増加につながり、効果につながった。</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3 と答えた場合のみ) 中間イベントの実施 3 回の会場の会場費の値上がりにより、各予算の内訳内で調整した。調整内容として、チラシデザインを会員の手作りのデザインで作成、昨年の消耗品の使いまわしなど、経費の削減につとめた。スタンプラリー参加店舗での売上はなかったが、中間イベントでのワークショップ開催により、ポストカードや小物の売上げがあり、経費に補填できた。</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>昨年度に比べ、中間イベントなどの集客イベントや、各店舗の宣伝効果や、口コミでの広がり、スタンプラリーの景品を充実させたことにより、アートに敷居を高いと感じていた方々も参加しやすくなり、春、秋通してスタンプラリーへの参加者が増えた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>① 今後は、八王子のイベントにあわせて市内のギャラリーでのハッピー太陽アート作品展を開催する。 ● 8月八王子まつりの時期 ギャラリーロックーニ (八王子市八日町) ● 11月八王子いちょう祭りの時期 a 画廊 (八王子市千人町)</p> <p>② 八王子市内の各店舗とのコラボ企画展の開催 ● 干支犬の作品展 丸吉優眠館(八王子市八幡町) ● ハッピー太陽作品展 味楽苑 (八王子市長房町) ● こりトリはうすコラボ展(八王子市横山町) 12</p>
---------	---

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	介護予防・健康元気は歩くことから		
団体名	特定非営利活動法人 南陽台地域福祉センター		
事業費	242,090 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>比較的高齢者率の高い八王子市南陽台は、坂道が多く、また地元の商店が閉店するなど高齢者が生活するには不便な地域である。</p> <p>自助・共助・公助の拠点になるような提案を継続的に行っていく。h27 年度事業で自治会との関わりもでき認知度は上がってきているものの、地域において当事業所の認知度はまだまだ低く、これらの活動を通じて広く知っていただくこと、身近に感じてもらうことを目的として企画。</p>
	<p>ノルディックウォーキングとは 2 本の専用ポールを使用し、一般的なウォーキングと比べ上半身が使われるため、全身の 90% の筋肉を使用する有酸素運動（通常歩行では約 40%）で、膝腰への負担が軽減する。</p> <p>南陽台を基点に、楽しく自然を感じながら五感を刺激して歩く。昨年の結果をふまえ、28 年度は年間を通じて 3クール（1クール 6 回、計 18 回）実施する。また、インストラクター（ノルディックウォーキング公認指導員）の指導については各クール 3 回の予定。</p> <p>上記の事業実施を通じて、当団体の活動を広く知っていただく。</p>

事業の活動実績	<p><u>ノルディックウォーキング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録延べ人数：23 名（男性 7 名、女性 16 名）、参加延べ人数：297 名（全 18 回） ・平均年齢：74 歳（男性 74.8 歳、女性 73.2 歳） <p>《第 1クール》</p> <p>①4/25 (18 名) ②5/9 (19 名) ③5/23 (18 名) ④6/6 (20 名) ⑤6/20 (20 名) ⑥7/4 (15 名)</p> <p>歩き方の基礎や靴の履き方を習う。 南陽台 1 丁目～3 丁目の外周道路をそれぞれ 3 km 程度ウォーキング。</p> <p>《第 2クール》</p> <p>⑦9/5 (17 名) ⑧9/26 (18 名) ⑨10/11 (13 名) ⑩10/24 (16 名) ⑪11/14 (19 名) ⑫11/28 (17 名)</p> <p>坂道や階段の歩き方、長沼公園-野猿峠、薬科大-平山城址公園、南陽台-大学セミナーハウスなどを 5 km 弱ウォーキング。</p> <p>《第 3クール》</p> <p>⑬12/12 (14 名) ⑭12/19 (14 名) ⑮1/16 (17 名) ⑯1/30 (17 名) ⑰3/13 (14 名) ⑱3/27 (11 名)</p> <p>南陽台-富士見台公園-首都大学東京、平山橋-浅川堤防-向川原堤緑道-高幡不動尊、平山城址公園-七尾公園-多摩動物公園-高幡不動、北野駅-片倉城跡公園などを 5 km～6 km ウォーキング。</p>
	<p><u>健康講座</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/20 「足もみ健康法」講座を開催 ・テーマ『自分の健康を自分で守る』 ・講師：佐々木美登里氏（若石リフレクソロジスト） ・南陽台自治会館において 参加者 16 名



事業の成果・効果	<p>ポールを使つてのウォーキングは全身運動であり体幹を鍛えることができ、さらに普段より歩幅を大きく無理なく長距離が歩くことが出来た。 高齢者の参加者が多いため、準備体操の強化により、転倒防止を図ることが出来た。</p> <p>坂道の多い立地であるがゆえ閉じこもりがちな高齢者に、仲間が出来ることや自然を感じながら歩く機会を提供できた。 「出かける場所」「参加するところ」そのものに価値があると実感した。</p> <p>回を重ねるごとにコースを変え、距離を伸ばすなどの工夫をしたことで、参加者のやる気やウォーキングを楽しむ気持ちが維持出来た。</p> <p>第1クール～第3クールを継続して参加する方が多数あった。 参加当初ポールをレンタルしていた人が回を重ねるうちに購入され、例会以外にもウォーキングが単独で楽しみながら出来るようになった。</p> <p>南陽台自治会報への掲載や戸毎にチラシのポスティングを行うとともに、回覧板への添付、近隣の市民センターや事務所にチラシを配布した。その結果、南陽台在住者を中心に、長沼町・打越町・南大沢・大塚・めじろ台・神奈川県中央区宮下本町からの参加があった。</p> <p>介護事業を主とする法人であり、活動を通じて地域とのつながりをより広めることが出来た。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>・活動休止期間の2月に「足もみ健康法」の講座を実施 ・レンタル用のポールを外部で手配していたが、事業費よりポールを3組購入でき、今後はそれをレンタルとして貸し出しすることにする。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>・自治会館とは、健康教室の会場に施設を使用させていただいた。 ・今後はクラブとして自立した運営を行っていく。今年度の実績をふまえ、助成金や参加費等で不足する分は、今後も南陽台地域福祉センターとの連携を継続し、おもに印刷費や通信費等の補填を受け活動していく。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・「南陽台ノルディッククラブ」を中心に、NPO 法人南陽台地域福祉センターと協働（事務局、広報など）し、平成 29 年度は地域ささえあい助成事業より助成金をいただいて活動を継続する。 ・定例のノルディックウォーキングを2週に1度のペースで、日頃の鍛錬成果の確認と親睦を兼ねた遠征を2回行う。 ・気候が厳しい8月と2月には室内での健康教室を開催する。 ・活動を通じて地域の情報や課題、問題点を共有し、今後の活動の展開を試みる。
---------	---

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	とんとんむかし ー語ろう！八王子のむかし話ー		
団体名	高尾山とんとんむかし語り部の会		
事業費	1,424,152 円	補助金額	600,000 円

事業の目的・内容	目的
	内容

八王子市は、中核都市という大きな都市にも拘らず、たくさんの昔話や伝説が残されている。13年間会の活動を通して、多くの方々に口承文化を伝えてきたが、共感を得られながらも、語り部を増やすことの出来ないことに悩んできた。今の時代、口頭伝承という情報伝達の形が受け入れられなくなっているのかもしれないが、出前語りの依頼は年々増えており、お断りすることも出てきている。語り部自身の高齢化も問題になって来ている。八王子の昔話を継承するためには、新しい発想も必要なのではと考え始めたとき、「お話の本はありますか」と、たびたび聞かれるようになってきた。口頭伝承、に一役買ってもらう手段として、本を読んでもらい、そこから語り部になってもらう方法もあるのではと考えた。膨大な数の残されたお話から、一冊の本にする事は大変な作業だが、13年間の語り部としての経験をもとに、残されたお話の編集をしなおし、次世代の語り部に繋げていきたいと考えた。

八王子の昔話を語りやすく、教本として残せる本の出版と、出版された本を使って武州語りの語り部や子ども語り部を育成することで、次世代への継承事業とする。

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 子ども語り部育成始まる。・「子ども語り部笑学校」と命名。8名の児童が集まる。皆熱心に楽しみながら、ひらがなの読めなかった子ども達が2月26日の発表会には見事な語りを披露した。一人語りの出来るようになるのも、もうすぐだろう。 元八王子地区で、大人語り部育成講座が出来た。語り部の会から2名が参加し育成をはじめた。「元八とんとん」という姉妹の語り部の会の誕生である。6月の元八王子市民センター祭りに、初めて語り部として地元のお話を語る予定だ。 八王子のまちづくりに貢献した大久保長安の記念館が建てられた。純日本建築の檜の香りのする部屋で、大久保長安伝説を中心におはなし会をした。長安の顕彰が出来たおはなし会だった。参加者50余名。長安祭りに合わせ、継続的に語りの会ができるよう検討中。 とんとんむかしー語ろう！八王子のむかし話ーの本を出版。「タウンニュース」に大きく取り上げられ、反響が大きかった。ケーブルテレビ「ジエイコム」で活躍する会として、出版本とともに紹介していただく。本の売れ行きも好調で、寄贈本、売上本と想像以上に市民に届ける事が出来、1版700部、2版500部を発行する事が出来た。今後はこの本を語り部育成の初期の教科書として活用していきたい。「とんとんむかし」出版記念おはなし会を、労政会館で行った。参加者100余名。点字本「とんとんむかし」を作成。都立盲学校、八王子市中央図書館に寄贈。 「講演会&子ども語り部…」を2月26日労政会館で行った。120余名が参加。
---------	--

■子ども語り部発表会



■とんとんむかし出版記念会



事業の成果・効果

題名「とんとんむかし」を語りのできる本として出版し、多くの人に八王子のむかし話を知っていただく動き出した結果、第一の目的、語り部を増やしたいという願いは、3名の語り部希望者が現れたことで達成でき10年来増えなかった会員が3名増で22名となった。新会員は、意欲的で、昔話大好き人間、かつ語りのボランティアを希望されている。

元八王子地区で、「元八とんとん」語り部の会が発足。語り部育成講座を開いたことで、より一層地域への関心、愛着が深くなったようだ。結果、語り部として地域の子供たち、大人にお話を届けたいと現在も勉強中である。29年6月、「とんとんむかし」本の中から元八王子地区に伝わるお話を発表予定。一人語り、数人で一緒に語ることで、初めての公演を成功させたいと、意欲的に練習している。

子ども語り部は、保育園生7名、小学校1年1人が取り組んだ結果、今後の育成は可能だと実感。1年生は、先生から「主人公の気持ちを理解、状況をつかんで、気持ちを込めて読む丁寧な音読がみんなのお手本になった」と評価されたとご父兄より報告があった。上手に昔話に取り組んだ年長組は、卒園してしまうが、3月末、在園生に発表会で語った昔話をいとも簡単に、楽しそうに語り聞かせていた。はじめて聞く年長組の語りに年少、年中組の園児は、口を開けて聞き入っていたが、終わって大きな拍手がわき、子ども語り部さんは嬉しそうだった。これから、どうつなげていくのかが課題だと感じている。

本の出版で、新聞やケーブルテレビに出演、各公演会にでることで語り部の会の存在を、今まで以上に知っていただくことができた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と場合い 本を2版したことで、出費はあったが、売り上げもあったので会としての収支は損なわれなかった。通信費はレターメールの使用により本の郵送料が軽減した。イラスト関係費用が安く抑えられた。活動日数が増え、資料作り等が増えたため消耗品費(インク代)が増加した。
	その他、評価すべき点等	通常の会の活動以外の活動が倍増した。高齢者集団の語り部の会として、どこまでできるか不安だったが、本の出版だけでなく積極的に本を媒体に語り部活動を行えたことで、広く市民に知っていただけ、かつ受け入れて頂けたことに感謝している。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>新しく入られた、新会員の語り部育成に尽くしたい。 子ども語り部育成を継続的に行えるよう、保育園から続けて小学校での育成を考えていきたい。学童保育所に、子ども語り部育成の場ができないのかもつか模索中。 語り部が増えることで、小学校の朝語りを増やすことも可能になってくる。</p> <p>今後、有料ボランティア活動(交通費等の・・・)をすることで、会の運営や会員の楽しみを増やしていくことも必要であると考えます。 将来的には、伝承文化の存続のため、各地の語り部の会との交流も大切にしていきたい。</p>
---------	--

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	HACHIDORI～八王子ロックドリーム		
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会		
事業費	2,016,411円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>現在、八王子における、他市にはない特出すべき特徴は、全国を対象に活躍し大型ロックフェスティバルの参加する有名ロックバンドを数多く輩出している事象である。また、全国で活躍するバンドの多くは、バンド結成地である八王子に愛着を持ち、八王子のライブハウスをホームとしていること。この事象の理由として、八王子の特徴である学園都市「八王子」約11万人が集まる学園都市パワーから音楽を志す若者が多いことが考えられる。この全国内においても貴重な風土を活用し、この資源活用を広域に広め、八王子がロックバンドを目指す若者たちの聖地となり、新たな来訪者が八王子を訪れること、また、移住することなどにより、多大な経済効果を生み出す可能性の機会となることを目的にしている。</p>
	<p>内容</p> <p>市内ライブハウスとその周辺施設を複数利用し、公演の同時開催と、周辺飲食店の協賛でクーポン冊子を配布することにより八王子のまちを回遊させるサーキット形式のロックフェスティバルを開催する。</p>

事業の活動実績	<p>【HACHIDORI～八王子ロックドリーム】</p> <p>日時：平成29年3月5日（日）</p> <p>会場：八王子 Match Vox ほか15会場</p> <p>出演者：128バンド</p> <p>参加者：1,488名</p>
	<p>市内16会場にて128組のライブ公演が行われるロックサーキットイベント。</p> <p>参加者に配布した冊子で飲食店舗の割引サービス等を行い、まちおこしを目的とする。</p> <p>小田原市が同様の音楽まちおこしイベントを実施しているので、連携を行い、姉妹都市の観光パンフレット配布も行った。</p>



事業の成果・効果	<p>参加者は街中のライブハウスをめぐりさまざまな音楽を体験する。また、バンド公演は17時過ぎの時間帯には終了、ライブ参加のあとは、ロック音楽を好みとする方だけでなく、幅広い世代の方々の参加と観覧を図り、市内外を問わないまちへ集客とまちの地域ブランドイメージを多くの方々に植え付けた。</p> <p>参加者・出演者含む2, 014名</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた (2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった (3) 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 年度末の3月に実施するものであり、収入・支出の動きが平成28年度内に完了しないことから、支出する事業費は減額し、収入する前売券のチケット代は翌年度に振込み予定となり、団体が立て替えることになったことなどから収入の内訳が変更となった。
	その他、評価すべき点等	本年度閉店した八王子ニューシネマビルの空き店舗利用や横山町公園での無料ステージでも中心市街地活性化・市民へのアピールも出来た。音響や人だかりでの苦情等が課題であったが、商店街の協力・交通整理要員の配置によりトラブルもなく無事に終了することができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>中心市街地の活性化、空き店舗活用などが課題と考え、イベントを実施しているが、補助終了後の自立化した予算で、継続的に実施することで、イベントの認知度とともにまちや店の認知度を高め、八王子の魅力を発信し続けることを目的として、事業展開を図る。</p> <p>また、継続イベントとしてマンネリ化しないよう、事業展開していきたい。</p>
---------	--

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」		
団体名	一般社団法人トレインズアカデミー		
事業費	2,011,471円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>近年、子どもたちの身体的発達において、運動が得意な子どもと不得意な子どもとで、二極化しているという課題があります。</p> <p>そこで、当団体は、地域のプロスポーツチームとして、学校や保育園を訪問して子供たちに運動への興味・関心を向上させる機会を与えるとともに、地元のチームを応援することで郷土愛を育み、また、アスリートと接することで2020年の東京オリンピックへの機運の醸成に貢献することを目的に本事業を企画しました。</p>
	<p>内容</p> <p>1.市内小・中学校におけるプロスポーツ選手による特別授業訪問</p> <p>2.市内保育園への定期訪問によるスポーツ推進活動</p> <p>3.市内イベントへの参加、協力</p> <p>4.「トレインズカップ」、「キッズフェスティバル」、「地域バスケットボール教室」の開催</p>

事業の活動実績	<p>○保育園訪問「フレンドリースマイル」</p> <p>平成28年度活動実績 66回実施（活動累計101回実施）</p>
	<p>○小・中学校訪問「ドリームスクール」</p> <p>平成28年度活動実績 29校実施（活動累計52校）、対象児童数2647名（累計4436名）</p>
事業の活動実績	<p>○トレインズカップ</p> <p>2016/7/21～2016/8/1の3日間で中学校男子バスケットボール部を対象に大会を実施 市内中学校20校が参加し、対象生徒数約400名</p>
	<p>○バスケキッズフェスティバル</p> <p>2016/7/23実施、日野市民の森ふれあいホールにて子ども達を対象としたバスケットボールを題材としたレクリエーションイベントの実施。約600名の参加</p>
事業の活動実績	<p>○地域バスケットボール教室</p> <p>地域のバスケットボールクラブと連携し、周辺地域の子ども達を対象に実施 平成28年度活動実績 11回実施 参加者約600名</p>



事業の成果・効果	<p>○活動をとおして、バスケットボールの普及に貢献した。指導者や用具が少ない中で、訪問して活動の場を作る事で子ども達にとって貴重な体験を与える事が出来た。</p> <p>○活動後にもバスケットボールの試合へ実際に足を運ぶ等、活動外の部分に対してもアプローチをすることができた。 2020年の東京オリンピックに向け、「観るスポーツ」への興味・関心に役立ったと感じる。</p> <p>○子ども達への指導の他、専門分野の指導方法などを現場の教員や指導者へ伝達する機会ともなり、教育現場の支援に繋がった。</p> <p>○運動が苦手な子たちへも親しみを持ってもらい、積極的な参加が見受けられた。</p> <p>○地元のプロスポーツチームを知る機会を与え、興味・関心を引きつけるきっかけを作り、地域への理解を深める事に貢献した。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 当初、横断幕を作成し、当団体の活動や協賛企業のPRを図る予定であったが、参加者へ企業名入りの記念品(シューズバッグ)を作成、配付したほうがより効果的だと考え、変更した。
	その他、評価すべき点等	年間を通して、想定よりも多くの子ども達と交流ができた。 29年度も継続してほしいというお声掛けもいただき、より良い形で実施を継続していきたい。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>29年度も継続して行っていくほか、今回対象とならなかった一般の方への活動を計画していきたい。より多くの市民のニーズにこたえていけるよう活動の拡大を目指し、引き続き地域に貢献していくことを目標とする。</p> <p>また、活動団体が補助金の支援を必要とせず、独立して活動していけるようスクール事業の充実を進めていく。</p>
---------	--

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	放課後スポーツ教室		
団体名	NPO 法人はちきた SC		
事業費	704,386 円	補助金額	350,000 円

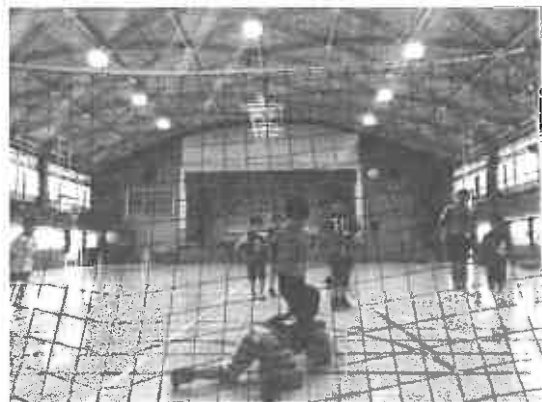
事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>こどもの体力低下を防ぐだけでなく、心身の健全な発達に適度の運動は欠かせないが、現代ではこどもの遊び場がどんどん減っており、体を動かす機会が減っている。また、習い事としてのスポーツ教室は金銭面や親の送り迎えの負担から参加できない子も多い。そこで、小学校の放課後の施設を活用して、誰でも楽しめるスポーツの場をつくり、子どもたちの心身の健全な発達に寄与することを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>放課後の小学校グラウンドまたは体育館へ当クラブの専門指導者が伺い、無料のスポーツ教室を行う。内容はサッカー、バスケットボール、チアダンス、スポーツ遊び（鬼ごっこ、ホッケー、ドッジビーなど、運動が苦手な子も参加しやすい内容で構成）の 4 種とする。サッカー、バスケはレベル・体力に応じてクラス分けを行い、誰もが楽しめるよう配慮する。</p>

事業の活動実績	7/3 教室実施@陶鎔小学校 18名
	7/10 教室実施@陶鎔小学校 25名
	9/15 教室実施@式分方小学校 31名
	9/22 教室実施@式分方小学校 35名
	11/21 教室実施@檜原小学校 12名
	11/28 教室実施@檜原小学校 11名
	12/1 教室実施@上壱分方小学校 15名
	12/8 教室実施@上壱分方小学校 12名
	12/15 教室実施@上壱分方小学校 13名
	3/1 教室実施@第十小学校 24名
	3/8 教室実施@第十小学校 26名
	3/15 教室実施@第十小学校 32名
	3/13 教室実施@陶鎔小学校 36名
	3/14 教室実施@檜原小学校 10名
	3/17 教室実施@式分方小学校 25名
	3/21 教室実施@檜原小学校 12名
	3/24 教室実施@式分方小学校 18名
3/27 教室実施@陶鎔小学校 32名	

事業の様子または成果がわかる写真①



事業の様子または成果がわかる写真②



事業の成果・効果	<p>小学校の放課後のグラウンドや体育館を活用することで、金銭面や親の送り迎えの負担から、これまでスポーツに参加したくてもできなかった子どもたちにスポーツ参加の機会をつくることができた。</p> <p>実際に18回の開催で述べ387名の参加を得ることができた。</p> <p>参加者や保護者からの反応もよく、多数の要望があったため1校につき2回の実施の予定だったが実施回数を増やして対応した。</p> <p>ここでスポーツの楽しさ、体を動かすことの楽しさをしてもらうことで今後継続してスポーツにふれあうきっかけを作る事ができたと考える。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>保護者の要望により以降あたりの実施回数を増やしたため</p>
	その他、評価すべき点等	<p>特に怪我人を出すことなく運営できたことは安全面の配慮が行き届いていた結果であり、万全の運営体制で望んだことで参加者の満足度も高かった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回の事業を通じてスポーツの価値、体を動かすことの楽しさを子どもたち及び親に伝えることができた。4月以降は参加者負担での事業を継続する。</p> <p>現在、開催場所・日程・種目の検討を行っている。</p>
---------	--

平成 28 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	RUN 伴+はちおうじ 2016		
団体名	「RUN 伴+はちおうじ」実行委員会		
事業費	779,929 円	補助金額	389,000 円

事業の目的・内容	目的 認知症は誰もがなり得る病気であり、特別な病気ではない。そのため、認知症を正しく理解して頂くことによって市民の方々の理解を得ることを目的とする。
	内容 10 月に開催するタスキリレーを中心として市民中心の認知症理解のネットワークを構築し、プレイベント、アフターイベントを開催し、市民の皆さんに認知症への正しい理解の促進を図り、認知症になったとしても自分らしく地域で生活をしていくことができることを伝えることによって差別、偏見を無くしていく。

事業の活動実績	7 月 30 日：RUN 伴+はちおうじ 2016 プレイベント開催 クリエイトホール 講師に和田行男氏（著書『大逆転の痴呆ケア』（中央法規）は業界のベストセラーとして知られている。）を迎え、開催。 参加者：40 名 参加者は考え方をええられたとの反応があり、認知症への考え方、捉え方を見直すことができた。
	10 月 15 日：RUN 伴+はちおうじ 2016 開催 八王子市全域 八王子市全域を 5 ルートに別れ八王子市役所を目指してスタート。参加者は 300 名を越えた。参加者は医療介護関係者に留まらず、当事者、市民の方々も多く参加された。特に館ヶ丘団地の高齢者が自分事と捉えてくれ、団地の方々が 30 名参加してくれた上に「最高の思い出になった。」との話を頂くことができた。
	3 月 12 日：RUN 伴+はちおうじ 2016 アフターイベント開催 エスフォルタ八王子 講師に来島みのり氏（東京都多摩若年性認知症総合支援センター）を迎え開催する。講師の体験を含めた話に感動。また、初めて認知症当事者の方々にもセミナーに参加して頂き、市民の皆さんとディスカッションを行う事ができた。参加者は 30 名。



事業の成果・効果	<p>今回の市民企画事業を行った結果として、市民の皆さんに認知症を理解しようという雰囲気 が少しずつ現れてきたように感じる。</p> <p>また、当事者が自分事として外に出て話をしてくれるような機会ができたことによって当事 者の生の声を聴くことができる貴重な機会とすることができた。</p> <p>また、10月のイベントでは昨年の約倍となる参加があった。参加者一人一人が心から楽しく 参加することができたことから今回のイベントは大成功を収めることができたと実感して いる。</p> <p>効果が表れるのは今後。市民の方々にもっと自分事と考えてもらうようにイベントの継続を 行っていくことが重要だと考えている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>経費を切り詰めることによって費用を安くし運営することができたため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>参加者が増えたこと、また、充実したイベントが実施できたことによっ て今後もイベントに参加したいと言われる市民の方々が多くいた。今後 につながる結果を出すことができた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後は、もっと市民の皆さんを巻き込みながら認知症を自分事として捉えられるようにして もらう機会にしたい。2017 では、バーチャルリアリティー体験ができるイベントを準備し ている。一人一人の意識が変われば安心して過ごすことができる環境に近づけることが可能 となる。そのため、市民向けのイベントへと進んで参りたいと考えている。</p>
---------	---

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	『説経節研究 物語編—三庄太夫—』の刊行		
団体名	説経節の会		
事業費	875,838円	補助金額	437,000円

事業の目的・内容	<p>目的 明治期以降八王子の説経節は隆盛期に入ったが、大戦後衰退するところとなり、その後保存の声が起こり、昭和61年「説教節の会」が結成された。会は10代目薩摩若太夫の芸継承を目的にして活動実績を積み上げてきた。本書刊行の目的は</p> <p>① 「薩摩派説経節」の保存・伝承・発展に寄与する。 ② 研究者及び伝承者が、薩摩派説経節を理解しやすい様に制作し、更に一般市民にも普及を図る。 ③ 平成27年に発刊した「歴史・資料編」に続き本書を刊行し、更に「音曲編」も展望して、芸能としての説経節の総合的研究・理解に資する。</p>
	<p>内容 後期説経節（薩摩派）の正本（版本・筆写本）についての研究書の刊行 仕様「説経節研究 物語編—三庄太夫—」・B5版、233頁、カバー付き普及本、発行部数500冊 編集 東京都指定無形文化財保持団体「説経節の会」 発行所 (株)せりか書房</p>

事業の活動実績	28年4月3日	「物語編 三庄太夫」の刊行決定	10月2日	読合せ 校正
	4月17日	「山岡住家之段」「寺入」読下し	10月15日	解説文読合せ 校正
	5月23日	「逃げ込み」「浜難儀」読下し	11月5日	解説文読合せ 校正
	6月26日	「三の柴」「山別」「安寿火責」	11月23日	関係資料整理検討 校正
	7月3日	「寺入」「逃込」「朱雀詣」	12月10日	掲載写真等検討 選択
	7月17日	「参内」「對王丸母対面」	12月25日	「はじめに」「あとがき」検討
	7月23日	パソコンへの打ち込み作業	29年1月7日	総まとめ
	8月11日	各段現代表記に移行	1月15日	入校原稿切り出し
	8月20日	荒木先生紀要の打ち込み	1月30日	入校原稿切り出し
	8月28日	現代表記作業	2月26日	カバー色校帯検討
	9月22日	荒木先生紀要の打ち込み	3月11日	ゲラ刷り校正
	9月26日	上記読合せ 校正	3月18日	ゲラ刷り校正 計24回



事業の成果・効果	<p>平成29年3月27日に「説経節研究 物語編—三庄太夫—」が刊行となった。2か月の遅れとなった。販売計画に基づき</p> <p>① 500部のうち、せりか書房で100部を販売する事となった。</p> <p>② 残り400部のうち、一次分として、60か所に本の贈呈をおこなった（贈呈先は下記のとおり）。</p> <p>③ 今後の販売活動のために、FAX申込書（チラシ）を1500枚作成した。</p> <p>【一次贈呈先（抜粋）】</p> <p>文化庁文化財部伝統文化課芸能部門、東京国立博物館、国立歴史民俗博物館、都立中央図書館、江戸東京博物館、八王子市役所文化財課、八王子市教育委員会、八王子市歴史資料館、八王子市立中央図書館 中央大学図書館、法政大学図書館、八王子車人形西川古柳座、高松派説経節太夫、埼玉横瀬人形芝居保存会、佐藤広氏他</p> <p>本書は、説経節研究の大家である元大学教授の研究論文（紀要）を掲載しており、市民活動としては、出色の成果であったと考えられるが、本プロジェクト審査の過程で頂いた数々のご提言の賜物でもあり、感謝申し上げたい。</p> <p>この後は、当然、成果を八王子市民はもとより、広く一般にも、伝え広めなければならない。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由（3、4と答えた場合のみ）</p> <p>事業のPRを兼ねた「市民本読み会」および「刊行報告会（お披露目会）」は、作業の遅滞・取り組み不足や出版の遅れで実施できなかった。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた ③ あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理（3、4と答えた場合のみ）</p> <p>当初は、編集・出版と印刷・製本を分け、二社に発注する計画であった。しかし、出版社が京都で遠く不便も感じていたので、東京の出版社に全てを任せることとした。一社体制ですっきりしたが、体制固めが遅れた分、コミュニケーション不足で、意思疎通に欠けた事実、同時発注した販促チラシが、注文が通っておらず、会が作成した。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>上記に関連して、二社別注の収支計画も、当然変更になった。幸い、本出版に関する数値に多くの差異は無く、当初予算をほぼ保持できた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>前述のとおり、本書が、説経節研究の大家の論文を転載出来た（承諾を頂いた）ことは、市民活動の研究本としては、稀有のことであると思われる。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>物語編は「小栗判官一代記」を予定。さらに「音曲編」として、十代目薩摩若太夫のCD集をだす計画もある。</p> <p>ただし、今回の混乱（①内部的には、PCソフトの問題・書式設定の問題 ②外部的には、出版社等とのコミュニケーション不足）を十分に咀嚼し、十分な準備を終えた体制で事業に臨むため、上記の出版計画を中断し、29年度は本事業への応募を見送ることとした。</p>
---------	--

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！		
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ		
事業費	1,182,704円	補助金額	394,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>農家の後継者不在や高齢化によって、敷地内の果樹や野菜でさえ手づかずのまま放置されており、自然環境、防犯上にも悪影響を及ぼしている。また最近急増したプチ農家や小規模農家は販売ルートが無い為収穫物の大半が無駄になっているのが現状である。住民は農家とのネットワークがないため、近隣の畑で収穫されるものもスーパーで購入している。こうした現状の農家と一般市民の媒体となり、忘れられていたひと、もの、ところをつなぐコミュニティの再生・活性化で、生産・加工・販売の統合化、地産地消、経済の活性化、環境保全を目指すことを目的とする。</p>
	<p>内容</p> <p>耕作放棄地の荒廃改善及び活用による農家支援・環境保全・農業維持◇地元農産物の加工・販売・宣伝による特産品開発への寄与、地域観光活性化への寄与 ◇体験講習と料理教室の開催による地元農産物の普及 ◇農に関心の高いシニアや若人・障害者の活躍の場の提供および活用 ◆ヘビウリ、トマト、その他を生産し、ソース等に加工、販売することで八王子の観光活性化に寄与する。◆鹿島地域で朝市・サロンを開催し、生産者と市民とのコミュニケーションを図る。◆馬糞・鶏糞・竹粉を使った有機たい肥で、循環型農法に取り組む。</p>

事業の活動実績	<p>朝市：鹿島団地—毎月第4日曜日開催（2、3月をのぞく10回） 横川町住宅—9月から毎月第2木曜日7回＋2回（地元イベントに参入） うたごえサロン：鹿島団地・毎月第4日曜日12回 講習会：うたごえサロンと併せて—梅ジャム作り・バジルソース作り・シソキムチ作り ブルーベリージャム作り・獅子柚子ママレード作り計5回 一般向け—梅ジャム作り・バジルソース作り・トマトソース作り・ブルーベリージャム作り・シソキムチ作り・りんごジャム作り・梅おかか作り・柚子みそ作り・柚子醤油作り・獅子柚子ママレード作り・わさび漬作り・蒟蒻みそ作り17回開催 畑耕作：火・木を中心に主に西寺方町・武藤様所有の畑を耕作 夏野菜の内、ジャガイモ・トマト・カボチャがイノシシに荒らされ全滅 八王子乗馬倶楽部の馬糞・数馬鶏卵場の鶏糞・神嶋米店の糠・滝山町遠藤宅竹林の竹粉をブレンド・発酵させ堆肥として使用 我笑会：川口地区高齢者サロンへの食事サービス。1人当たり300円での献立は会から食材を持ち出しての提供となった（メニュー：ハヤシライス・ポテトサラダ・桃缶） イベント販売：陵南公園桜祭、はちかふえ、わくわくフェア、フードフェスティバル、いちよう祭り、お十夜、高尾山口マルシェなど</p>
---------	--



朝市風景



高尾山口マルシェ



トマトソースとヘビウリカレー作り講習会

事業の成果・効果	4年間取り組んだ効果で各方面に拡大ができた
	① 朝市開催場所の増加 鹿島団地と同時期同スタイルで建築された住宅公社の横川町住宅に毎月第3木曜日に昼市を開設。買い物困難地域なので地域貢献できた。
	② うたごえサロン(鹿島)の充実 1人暮らしの高齢者グループなので順番に病気になるが お互いを励ましあい乗り越え発表会も開催できた。コミュニケーションが深まりかけがえのない存在になっている。
	③ イベント販売先の増加 いちょう祭りに加え、陵南公園桜祭り・はちかふえ・八王子フードフェスティバル・お十夜祭り・ワクワクフェア・京王電鉄高尾山口マルシェなどに新規参入したことで知名度のアップと増収につながった。 多くの出会いがたくさんの情報につながり、ステップアップの起爆剤になった。
	④ 新商品の開拓が需要を伸ばす 情報からのヒントや、新会員の発案+工夫で新しい製品が誕生。 特に柚子醤油が好評でリピーターが増加。
	⑤ 新たに西寺方町の畑に取り組む 900坪ほどの広さの畑を耕作し多品種の栽培が可能になった。獣害対策が課題
⑥ 循環型農業への取り組みが可能に 堆肥スペースを作り、馬糞・鶏糞・糠・竹粉など八王子産の廃棄物で堆肥づくりに挑戦	

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 事業の拡大で増加した
	その他、評価すべき点等	イベント参加や市民活動協議会主催の研修などを通じた他団体との交流が、今年度だけでなく来年度の企画にも展開する可能性が広がった

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	安定した野菜収穫量・安心安全な加工品の提供で地域経済の活性化に寄与する 1, 畑周りの整備・人材の確保・堆肥づくり研究 2, 食品微生物センターでの検査 3, 新たな委託販売先の開拓 4, 地元の隠れたうまいもん発掘と新製品の開発 5, 若い障害者の就農へのアプローチ
---------	---

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	人と動物が共生できる街づくりを目指す「地域猫活動 (T.N.R.M)」推進のためのセミナーおよび勉強会の開催		
団体名	八王子猫のおうち探しの会		
事業費	435,133 円	補助金額	120,000 円

事業の目的・内容	目的	<p>26年度および27年度の企画事業により、保護、譲渡事業が順調に進み、殺処分数も減少してきた。ただし、広大な八王子市において地域性を生かした活動を広めるためには、その地区で猫に係っている市民との連帯が必要となってきた。また、27年度企画事業「第2回地域猫セミナー」において、地域住民によるボランティア活動の推進の意義と有効性を学んだ。それを受けて、本年度は新たに「地域猫活動 (T.N.R.M.) のためのボランティア勉強会」を市内各所で開催し、学習や情報交換を行い、猫トラブルの解消に向けて、地域に密着した活動を進めることを目的とした。</p>
	内容	<p>1、屋内型の常設会場で、主に八王子市内で保護した猫の新しい飼い主探しを定期的実施した。 2、基本的な地域猫活動を学習するために有識者によるセミナーを年1回開催した。 3、啓蒙活動の発展形として、市民レベルによる「地域猫活動 (T.N.R.M.) のためのボランティア勉強会」を年4回開催した。</p>

事業の活動実績	年間	譲渡会開催：計 160 回 (26 年度 113 回 27 年度 159 回) 保護猫譲渡数 202 頭 八王子古本まつり 犬猫里親相談所 開設 2 回 いちよう祭り参加 市民からの相談対応
	ボランティア勉強会	6 月 8 月 11 月 1 月の 4 回
	3 月	「地域猫セミナー」の開催 (於学園都市センター)



事業の成果・効果	<p><u>譲渡・相談事業の成果</u> 常設会場も4年目を迎え、さらにメンバーが増え活動内容が広がってきた。</p> <p><u>ボランティア勉強会</u> 6月21日 八王子市保健所による講演 生活衛生課 西尾氏 とちのき動物病院院長 佐藤真一先生 8月23日 八王子市保健所による講演 生活衛生課 谷勝氏 11月7日 八王子市丸山町の取り組み 樋口氏 とちのき動物病院院長 佐藤真一先生 1月28日 立川市の地域猫対策について 立川市職員 八谷さん ボランティア勉強会では実際の取り組みについて学び、フリーディスカッションでは猫トラブルで困っている人、猫に餌をあげていて苦情を言われた人などが集まり、今後の問題解決の一助となった。毎回、八王子保健所職員も参加していただき、課題の共有もできた。</p> <p><u>第3回地域猫セミナー</u> 3月21日 講師 元新宿区職員高木優治氏、練馬区職員石森信雄氏 参加人数も回を重ねるごとに増え、メディアの紹介もあり市外からの参加者も多かった市議会議員も参加し、今後の八王子市の動物行政が進展する可能性があることを感じた。</p> <p>セミナーや市民活動団体のイベントに参加することによって、動物に関わる市民活動を知ってもらう機会が増えた。 運営費捻出と活動広報のための「めぐり本プロジェクト」が始動し、多くのかたから支援をいただいた 西武信用金庫 第4回 西武街づくり活動助成金受給 NPOさぼーと802「ゆめおりファンド人財支援」プロボノチームによる、当会の活動の事務部門の支援を受け、運営を強化することができた</p>

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 年々相談者自ら保護・譲渡に参加する事例が増え、貸出器具が予想以上に増えた。また、勉強会回数が計画より増え告知チラシの印刷費が増加したため会の運営費から捻出した
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>セミナー、勉強会は継続して開催予定</p> <p>高齢者による飼育放棄が増えて、ボランティアの負担が増大している このため、包括支援センターや民生員に働きかけ、事前に適正飼育のパンフレットを配布してもらうなどの活動を展開する予定</p>
---------	---

平成28年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業		
団体名	特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会		
事業費	947,057円	補助金額	253,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>一人住まいの高齢者や高齢者のみ家族、孤立した子育てをしている家族、諸問題を抱える住民が多い地域である。様々な支援の手が必要とされている。 当法人の人材資源、ネットワークを利用して、地域医療・福祉の支援を行うことを目的としてこの事業を企画した。</p>
	<p>内容</p> <p>八王子市館ヶ丘地域の住人を対象として、館ヶ丘クリニック施設の休館日を利用して多世代（0歳～100歳以上）の交流広場を週2回（木曜日・日曜日）開設し、地域コミュニティづくりを行うとともに、認知症等の予防・早期発見や子育て不安の相談など、地域医療・福祉に関する事業を行う。</p>

事業の活動実績	・広場を日曜日・木曜日に 98 日開催 延べ参加人数 3,441 人 （会場：館ヶ丘クリニック）													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	木曜	4	4	5	3	4	5	4	3	3	4	4	5	48
	日曜	4	5	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	50
	参加	250	270	327	286	278	334	305	205	340	291	269	286	3,441
	<p>・月2回の専門者（ケアマネジャー・医療ソーシャルワーカー）の相談会を開催。 ◎介護保険制度の説明および活用方法を個人別に行いました。 ◎医療・福祉の相談を個人別に行い、（開催日だけではなく、専門電話にも相談あり）ほとんどのケースが継続的に相談を受けています。介護保険変更の説明も行いました。</p> <p>・特に楽しかったイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・餃子づくりを集会場で行いました。 ・ピアノを運び込み、プロの方のピアノ伴奏で歌いました。 ・年忘れのうどんを食べました。 <p>・日常的に利用者が作った雑巾・編み物・袋物・（くす玉・紙ごみ箱・お手玉など）はお誕生会のプレゼントや医療機関・被災地へ寄付を行い、皆の励みになりました。</p>													



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニティづくりの推進 お茶の間「民」に参加することにより、地域の方々と交流することができた。特に引越してきて間のない人にとっては住民としてのデビューの場となっています。 ・地域貢献を行う人材の育成（地域人材資源活用） 広場のスタッフは地域住民です。 日常的に行っている雑巾作りや編み物といった成果物を寄付するなど社会参画の場を提供し、参加者の社会貢献への意識を向上させることができました。 ◎参加者自らが積極的にお茶の間「民」の活動に参加し、手伝うことが増えた。 ・様々な医療や福祉に関する個人の問題を発見し、機関へ繋ぐとともに、寄り添い、支援 地域包括支援センター高尾・地域包括支援センター寺田や地域子ども家庭支援センターといった公共機関との連携を図り、共に情報を共有することで、よりきめ細やかな支援をすることができました。（医療センターの医療相談室やその他医療機関とも連携） ・学校の夏休みを機会に、昼食のおかずを団体が責任を持って用意することにしました。 小中学校にチラシを置きましたが、子どもの参加者はありませんでした。しかし、一人暮らしの方々が昼食を楽しみに定期的に来られるようになった。また、八王子フードバンクより毎週果物や野菜を頂いて、提供しています。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 印刷製本でニュースをコピー印刷ではなく、プリンターでの印刷が多かったため、印刷製本費が減り、消耗品にプリンターインク分が増加した。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>多世代の交流を大切に、子どもたちにも気軽に来られる場所となるように、様々な工夫をして行きたいと思います。特に昼食のおかずの提供は続けて行きたいですが、資金やフードバンクの荷受けをする人材など、多くの課題があります。地域の方々との連携の中で継続できるように体制を整えていきます。</p>
---------	---

5 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日	平成29年6月24日（土）成果報告会において実施
対象	成果報告会への来場者
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	12名

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	食に困る人々を地域で支えるフードバンク事業	
団体名	フードバンク八王子えがお	掲載ページ P5

- ・ 遠い地域の話だと思っていましたが、身近にある問題なのだと知りました。大きな輪に広がることを願います。(40代)
- ・ 地味な活動ですが、大変意義があると思います。引き続き頑張ってくださいたいです。(70代)
- ・ 現代の根深い課題に、食の提供という形で取り組み、一定の成果を上げつつありますが、適切な食品管理、提供食品の流れの透明性確保、行政や他のフードバンクとの連携が必要となってくると思います。(60代)
- ・ 市民に上手に周知すれば、もっと大きな力を得られるのではないかと思います。(60代)
- ・ 貧困に苦しむ方には必要な活動ですが、どのように自立していくかが難しいと思います。(40代)
- ・ 貧困の方には必要な取り組みですが、継続性が課題であると思います。(50代)
- ・ 参加する提供者が増加し、第一段階は達成された御苦労がわかりました。今後の配付方法、食品の衛生管理面ほかの前進を期待します。(70代)
- ・ さらなる拡大、推進を期待しています。(60代)
- ・ 市内の困っている人々を救うことは、市の補助金を受けるにふさわしいと思いました。(50代)
- ・ 困っている方、助かった方の実際の声があると嬉しかったです。(20代)

事業名	高齢者の転倒事故から頭部を守る重要性の広報活動と頭部の新保護具の研究・開発	
団体名	八王子アイデア発明研究会	掲載ページ P7

- ・ 創意工夫を感じました。体験できる場を広げていただければと思いました。低事業費であることに驚きました。(40代)
- ・ 高齢者の転倒事故は避けて通れないことであり、困っている高齢者には大変うれしい活動であると思います。(70代)
- ・ 公益性があるのかよくわかりません。(40代)
- ・ 補助の必要があったのか疑問に感じました。(50代)
- ・ 入浴、就寝以外は長時間装着するようですので、圧迫感、汗等の利用者の見解はいかがであったかが気になりました。一度試してみたいです。(70代)
- ・ 高齢の方々を守る方法を考え、実用性に結びつける取り組みは、必要な人にとって有り難いことだと思います。(50代)
- ・ 高齢者への周知方法に工夫の余地を感じます。(60代)
- ・ 頭部保護具への熱意が伝わってきました。(20代)

事業名	マルベリーハートフルフェスタ	
団体名	マルベリー東京パイロットクラブ	掲載ページ P9

- ・ 定期公演につながられると良いと思います。音楽に加え、芸術作品も見てみたいです。(40代)
- ・ 障害者にとっては、勇気付けられる活動であると思います。是非、頑張ってください。(70代)
- ・ 障害者への素晴らしい支援事業です。是非、継続的に実施して欲しいです。(60代)
- ・ イベント以外の活動は考えられないでしょうか。(40代)
- ・ すばらしい企画だと思います。今後発展させ、知名度を上げ、障害者の生きがいの一助となると良いですね。(70代)
- ・ 今後も継続されることを期待します。(60代)
- ・ 市に住んでいる人誰もが自己実現を図れるような活動はどんどん推進して欲しいですし、素晴らしいと思います。(50代)
- ・ 大きなイベント、求められているイベントをやりきる力は凄いです。(20代)

事業名	八王子ハッピー太陽ロードハッピー太陽作品展 ～元気なアートで街とお店と人をつなぐハッピー太陽プロジェクト～	
団体名	八王子ハッピー太陽ロード実行委員会	掲載ページ P11

- ・ 地元商店街の活性化には大変有意義な活動であると思います。(70代)
- ・ まちを元気にするという意味では良い活動ではあるが、この補助金でやることには少し疑問もあります。充分、自立できる活動になっていると思います。(60代)
- ・ 補助の必要があったのか疑問に感じました。(50代)
- ・ 残念ながら、個人的な展示会には見えません。(60代)
- ・ 八王子の町や住民が元気になるようなアイデアやイベント、展示によって、きっと元気になった人が増えたことと思います。(50代)
- ・ 果たして、まちのにぎわいづくりにつながったのか疑問を感じました。(60代)
- ・ 地域の店舗の活性化がみられ、素晴らしい活動だと思います。(20代)

事業名	介護予防・健康元氣は歩くことから	
団体名	特定非営利活動法人南陽台地域福祉センター	掲載ページ P13

- ・ 楽しく介護予防に取り組まれている様子を感じられました。(40代)
- ・ 高齢者の活動として、福祉活動の一環として、高齢者を元気づける活動として素晴らしいです。(70代)
- ・ 介護保険法の改正で、地域を包括的に支えること、健康寿命を延ばすことは時代の要請です。さらなる他地域への展開ができれば良いですね。(60代)
- ・ ノルディックウォーキングを広く宣伝することで、健康増進につながるとよいと思います。(70代)
- ・ 地域的に拡大されることのご検討を期待します。(60代)
- ・ 80才以上から始めることは難しいので、65才以上になったら参加して、ある程度体がきくうちから将来を見据えて行くと、より効果が上がっていくと思います。(50代)
- ・ シンプルながらとても良い企画で、参加された方の充実感が伝わりました。(20代)

事業名	とんとんむかし ー語ろう！八王子のむかし話ー	
団体名	高尾山とんとんむかし語り部の会	掲載ページ P15

- ・ 八王子の歴史を振り返り、大変有意義だと思います。(70代)
- ・ 語り部の育成と文献での伝承、大変素晴らしいです。八王子の宝物を正に100年未来に残していけます。(60代)
- ・ 取組みの幅が広く、今後に期待できます。(60代)
- ・ 語り部文化の継承の面から貴重な活動であると感じました。(40代)
- ・ 補助が活きている感がありました。(50代)
- ・ 伝承は大事ですので、事業の拡大と継続を期待します。(60代)
- ・ 口頭で語られてきたことは、形にしなければ消えていってしまうと思います。ですので、よく活動を始められたと思います。より活動が広がるといいですね。(20代)

事業名	HACHIDORI ～八王子ロックドリーム	
団体名	HACHIDORI フェスティバル実行委員会	掲載ページ P17

- ・ 八王子のシティプロモーションを支える1つの事業に育っていけばいいですね。(60代)
- ・ 内輪のお祭りにならないようにお願いしたいです。(40代)
- ・ 若い人の企画への支援や経済的援助は大切だと思います。(60代)
- ・ 音楽を好む若者たちが生き生きと活動することはすばらしいと思います。ロックにジャンルを限定せず、様々なジャンルの歌をライブで聴くことができたら素敵だと思いますし、大人も行きたくなると思います。(50代)
- ・ 若い人の力を感じました。今後に期待したいです。(60代)
- ・ 八王子を盛り上げるとてもいい企画だと思います。町や学生との協力が魅力的でした。(20代)

事業名	保育園訪問「フレンドリースマイル」、小・中学校訪問「ドリームスクール」	
団体名	一般社団法人トレインズアカデミー	掲載ページ P19

- ・ 特に、園児、小学生くらいまでは、親の理解・協力が大変重要であると思います。子どもたちの活動の様子を親が見ることで、広がりができると思われるので、親の見学も可能にしてはいかがでしょうか。(60代)
- ・ よく活動されていると思います。子どもにとっても必要と感じました。(40代)
- ・ 子どもの運動能力向上に貢献していると思います。(60代)

事業名	放課後スポーツ教室	
団体名	NPO 法人はちきた SC	掲載ページ P21

- ・ 子どもの運動能力向上に貢献していると思います。(60代)
- ・ 小学校との関係性が鍵だと思います。継続に期待したいです。(40代)
- ・ 経済的負担を考えず、誰もがスポーツに取り組めるよう働きかける活動であり、大切に続けていてもらいたい。できれば、メンバーを増やし、回数や実施校を増やしてほしい。(70代)

事業名	RUN 伴+はちおうじ 2016	
団体名	「RUN 伴+はちおうじ」実行委員会	掲載ページ P23

- ・ 活動の目的と解決の手法に違和感があります。(60代)
- ・ 活動の継続に期待したいです。(60代)
- ・ 認知症の正しい理解を広げるとともに、安心して徘徊できるまちづくりのため、理解と協力の輪を広げてほしい。(70代)

事業名	「説経節研究 物語編—三庄太夫—」の刊行	
団体名	説経節の会	掲載ページ P25

- ・ 特になし

事業名	生産加工の容易な農産物で地域の環境保全と活性化を図る！	
団体名	特定非営利活動法人すまいるカフェ	掲載ページ P27

- ・ 「農業」は、様々な課題にあふれる社会で多様な可能性を秘めていると思います。医療、環境、地域再生、職場・・・さらに活動が広がることを期待します。(60代)
- ・ フードバンクと連携してはどうでしょうか。(60代)
- ・ 補助なしでも活動できるのではないかと感じました。(40代)
- ・ 大切な活動。フードバンク活動、子ども食堂等との連携ができれば良いと思った。(70代)

事業名	人と動物が共生できる街づくりを目指す「地域猫活動(T. N. R. M)」推進のためのセミナーおよび勉強会の開催	
団体名	八王子猫のおうち探しの会	掲載ページ P29

- ・ 代表をはじめメンバーの方の想いがしっかりしています。大変期待しています。(60代)
- ・ 工夫しながらよく取り組んでいると思います。(60代)
- ・ よく活動されていると思います。話を聞いて、応援したいと思いました。(40代)
- ・ よく取り組まれており、十分自立していけると感じました。(50代)
- ・ 行政をうまく巻き込んでおり、他の団体の参考になります。実績も素晴らしいと思います。(60代)
- ・ 成果があがっていることは、励みになるでしょう。今後もがんばってもらいたい。(70代)

事業名	地域多世代交流広場 お茶の間「民」事業	
団体名	特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会	掲載ページ P31

- ・ 地域をみんなで支える地域コミュニティの再生にさらに拡大されることを期待しています。(60代)
- ・ 補助が無くなっても、継続してもらいたいです。(60代)
- ・ 地域の病院を活用した取組みが、他の団体の参考になります。(60代)

(2) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

【公益な市民活動に対する市からの補助は必要だと思いますか】

- ・ 必要である (8名) ・ 必要ない (0名) ・ わからない (0名)

【公益的な市民活動に対する市からの支援についてどのような支援があると良いと思いますか】

(複数回答可の設問)

1.	補助金による支援	○ → 8名
2.	活動の場の提供	○ → 6名
3.	施設使用料等の減免措置	○ → 3名
4.	活動の情報発信面での支援	○ → 6名
5.	団体間の交流の場・機会の提供	○ → 2名
6.	機材や資材の提供	○ → 2名
7.	講師・スタッフ等人材の派遣	○ → 1名
8.	人材育成	○ → 1名
9.	団体・人材の斡旋	○ → 2名
10.	その他	市民活動支援センターの充実

【補助金制度についてのご意見】

- ・ 継続して欲しいです。(40代)
- ・ 補助率や補助金の上限額を見直してもよいのではないのでしょうか。(50代)
- ・ 八王子市は人口が多く、地域での課題も多いと思います。そのようななかで、市民活動を応援していただけてありがたいです。(20代)

(3) 成果報告会についてのご意見・ご感想

- ・ 補助金獲得団体関係者だけでなく、一般市民の参加を増やすことも必要ではないでしょうか。(60代)
- ・ 一般の市民にも来てもらいたいです。(60代)
- ・ みなさんの発表がすばらしかったです。お疲れさまです。(60代)
- ・ もっと多くの人に参加してもらって活動が広まると良いと思います。(20代)
- ・ 発表時間を10~15分と長くしてもらいます。(70代)

6 交付団体連絡先一覧

区分	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援部門	フードバンク八王子えがお	佐野 英司	佐野 英司	八王子市狭間町1838	042-664-2074
	八王子アイデア発明研究会	堀内 進一	大谷 哲也	八王子市みなみ野2-6-4	042-635-2287
	マルベリー東京パイロットクラブ	井田 美代子	井田 美代子	八王子市明神町4-23-15	090-6113-0332
	八王子ハッピー太陽ロード 実行委員会	小楠 安輝子	小楠 安輝子	八王子市絹ヶ丘2-36-13	042-635-1493
	特定非営利活動法人 南陽台地域福祉センター	渡邊 秀樹	関口 安子	八王子市南陽台1-12-17	042-670-4347
事業実施部門	高尾山とんとんむかし語り部の会	吉田 美江	吉田 美江	八王子市絹ヶ丘1-17-3	042-635-5951
	HACHIDORIフェスティバル 実行委員会	奥 泰正	奥 泰正	八王子市三崎町2-5 鳳来ビル1F	042-627-7787
	一般社団法人 トレインズアカデミー	和田 尚之	千葉 司	八王子市子安町3-6-7 サザンエイトビル1F	042-649-4440
	NPO法人はちぎたSC	紙本 諭	紙本 諭	八王子市犬目町941-5	042-652-9932
	「RUN伴+はちおうじ」 実行委員会	古谷 和則	古谷 和則	八王子市西寺方町1214-11	042-652-5650
	説経節の会	坂田 宏之	宮川 孝之	八王子市久保山町2-30-10	042-691-5141
	特定非営利活動法人 すまいるカフェ	高倉 裕香	高倉 裕香	八王子市みつ台2-29-14	042-691-5045
	八王子猫のおうち探しの会	小林 結花	小林 結花	八王子市初沢町1298-5 はちねこ！カフェ	080-5496-8838
特定非営利活動法人 地域医療・福祉の明日を考える会	大倉 民江	浅野 里恵子	八王子市子安町1-9-17	070-5566-5272	

平成28年度交付
市民企画事業補助金
成果報告書



平成29年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042-620-7401 FAX 042-626-0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
URL <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html>

